

まつたりの天幕生活

2004年から始めたblog。古代史がらみのHP「蝦夷を訪ねて」も立ち上げてしまった。そこで、このblogをインドア系のblogに、HP「蝦夷を訪ねて」をアウトドア、土地の由来、地域関連にテーマを分けた。

新着記事	カテゴリー	コメント	リンク	蝶夷を訪ねて	HOME
------	-------	------	-----	--------	------

ブログ内検索

検索

プロフィール



HN： どら部屋のどら
HP： 蝦夷を訪ねて
性別： 男性
趣味：
最近キャンプやってないなあ
自己紹介：
2005年以前はキャンプにベッタリでしたが、
山歩きにハマった2006年。
森をあるき、山小屋で休み、山頂からの写真をとる。
時々、トホホ登山をしたりもする
(←命がけデス)

【趣味いろいろ】

- ガーデニング
山→緑→庭→ガーデニングと園芸・造園（？）も趣味になりつつ。
多肉植物にも手を出しあはじめました。
カテゴリにガーデニングあります。

◎mixiにはまってル！？

- 古代東北地方にいた民族「蝦夷（エミシ）」
小説「火炎」を読んで以来、岩手県の地元の所縁の地を訪ねます。

アクセス解析

カウンター

RSS

西日本を天幕す（その2）

秋吉台はやっぱり鍾乳洞。
観光エリアだが、ここで寄らなかつたら後悔するだろう。
キャンプ場で200円のクーポンをもらっているので、1000円で、入場。



クラゲの滝上りだったかな



百枚皿



黄金柱



長剣（ツヨシ？）

洞中のせせらぎが静に流れる場所。

画像が横になっちゃってます 壁面の褐色も美しい。退廃的というのでしょうか。

お土産屋さんも多くあり、石ころも100円で売っている。
自然の拾い物。よっぽど買おうかと迷ったが、やめた。



15時すぎ、鍾乳洞を抜け出て、1時間以上バスを待つ。

やっと新山口駅に到着したら、もう夕闇が迫ってきた。
日中は雨空だったが、青空が見えてきた。
この夕暮れの空は好きだ。

さらば山口、山頭火の草庵でも見たかったが、名残惜しい。
こんな貧乏旅をしていると、山頭火の旅に憧れるが、
とんでもない人生と行乞（＊1）というらしいが、俺には無理。

カレンダー

最新CM

えみしを訪ねて

カテゴリー

リンク

アーカイブ

[RSS 0.91](#)[RSS 1.0](#)[RSS 2.0](#)

* 1 : 行乞（ぎょうこつ、食べ物の施しを受ける行）

これから広島まで戻る3時間の山陽本線。
今日は広島でカキフライでも食べて、マンガ喫茶にでも泊まろう。なんて、つば
を飲み込みながら、車窓を眺めると、
まだ空は明るく、澄み切った青空にきれいな月が浮かんでいる。
今日のような山頂はいいだろうなあ。

そんな山頂を思い浮かべると、予定の山旅を思い出した。
広島のかなり手前に柳井駅から、里山に登る計画を立てていた。
ふつふつとこんな時間から登るのか？ ナイトトレッキングもしたことがないし。
道もどうか？
一応、登山ガイドのコピーを持ってきたし、市民に親しまれる山という。
ガイドブックの説明を何度も読み直すと危険はなさそうなルートだ。
思い切って、行ってみよう！
切符は近距離で買っていたので、柳井下車で買い足した。

柳井へ着くともう真っ暗。
助かることにコンビニもあり、夜食と水を補給した。
市街を30分ほど、迷いそうになりながら歩くが、携帯のgooglemapが役にた
つ。
バッテリーやこころ元ないが、登山口までいかないと今晚の泊まるところがな
い。
いざとなったら、公園か？
登山口からの工程、道迷い、滑落。
不安が頭をよぎるが、携帯の道案内をたよりながら到着した金剛寺。
ホット一息し、トイレを借り、コンビニで買ったペットボトルの水を水筒にうつ
す。
登り口を探すが、すぐには見つかず、墓の前を通り過ぎるが行き止まり。
もときた道戻り、怪しい脇道をたどるとなんとなく登りにもなり、かなり踏まれ
た道だ。
左右にお地蔵さんがいるので手を合わせ、今晚の山旅を祈願する。
次々にお地蔵さんやら毘沙門天やら、ほこらが奉納されているが、
ガイドブック通りなので、ちょっと安心。
15分ほど上り詰めると、見晴らしのいい開けたところから夜景が見える。
どうやらここが大師山らしい。
道なりにすすむと、何だか、下っていく、それも町に向かって。まるで下山する
みたいに。
少し辛抱して降りていくと、街灯が見えてきた。
ありやりや、もしかして、山を登って下って、一回りしてきたか？
なんだか、さっきのお寺のような屋根がみえたり、駐車場のような場所が木陰か
ら見える。
街灯の明かりをみるとホッとするが、今晚の天幕場ではない。戻る。
時刻は21時前後。
ガイドブックを見直すと、さっき通過した大師山山頂からすぐに三ヶ岳への縦走
路があるらしい。
目をこらすと、山頂らしき山陰も黒々と見える
ゆっくりと脇道を探すと、あった！
標識も目立たないよう、ブロンズ色で小さいながらしっかりと立っている。
うっしゃあ～！！これで山頂に向かえる。
今日2度目にホッとして、水を補給する。
それから三ヶ岳への道は、ヘッドライトの明かりも快調で楽ちんだった。

三ヶ岳の山頂は少し風が強いものの、テントはロープ2本で固定出来た。
そこで、ちょっと寒いが、ビールとコンビニでかった焼き鳥で乾杯だ。

オリーブオイルを使っているので、なかなかいい香りがする。

なんだか、繁華街にいる気分だ。



さらにはホットウイスキーへとすすむ。

山頂から見下ろす柳井港も、町明かりが少ないが綺麗だ。

翌日は6時過ぎ起床。

朝の写真は楽しい。

まずは昨夜登ってきた道を。

ちょっとした岩場があったが。



振り返った朝焼けとテント。

よくぞ無事でこれたものだ。

少し経験値upかな。

(鼻がムクムクッ)



朝7時半ごろ。

柳井港もうっすらと桃色に染
まっている。

いい朝だ。

すっかり明けた朝の緑が鮮やか
に輝き出す。

この時間の森は刻々と変わるので
楽しい時間だ。

テントもたたみ、朝メシは菓子パンだったろうか。

目の前のピークに到着すると、そこが三ヶ岳の山頂でテントを張ったところは
三ヶ岳の西峰だった。

本当の三ヶ岳にはアンテナがそびえ立った495mだった。

三ヶ岳を降り、林道を横切ると、公園になっているらしく、
琴石山グリーンパークガイドマップのりっぱな地図がたっている。
トイレは簡易便所。



公園と銘打つだけあって、階段がある。

しかも段差が結構ある。きついです。

階段はきらいだ。

でも階段がないと、ざれた登山道になって、山が削れていくんでしょうか。

しうがないのか。

ぶつぶつといいながら、歩む早朝の登山道は俺一人。



開けた登山道に朝日もあたり、最高の登山道だ。
真夏はきついらしい。



海面0mまで見える山頂545m
この低山でも満足。
わざわざ持ってきた双眼鏡が楽しい。



逆光の周防大島
灰色の空・海・島。この色合いもいい。

この山頂から柳井港駅まで降りるのに1時間。
急な階段をひたすら下る。

>>>>>>>>>>>>>>

下山後は電車移動して、広島観光。



1945年8月6日

3月11日と重なる思いもあるが、
震災より、苦しいような気がする。

何万人の人々が苦しみ、あえぎなくなっていったのだろう。
水をもとめ、こどもを、家族を焼かれ、
逃げる間もなく、一瞬のうちに亡くなった人も。

このドームを背景にピースサインをしながら記念写真を撮る人もいたり。
どういう思いを持って、ピースサイン？Vサイン？をするのだろう。
ここで亡くなった人々のことはまったく考えてはいないのではなかろうか。

昔読んだ、はだしのゲンを思い出す。
つらく、怖い漫画だった。
思わず、目頭が熱くなった。

拍手する [0回]



PR

2012/04/01 (Sun) 天幕生活 Comment(1) ▲TOP

<< 京都は楽し♪ HOME 西日本を天幕す（その1）>>

COMMENT

NAME

TITLE

MAIL (非公開)

URL

EMOJI



COMMENT

メッセージをどうぞ

PASS (コメント編集に必須です)

SECRET

 管理人のみ閲覧できます

送信

無題

by ぶうたろう 2012/04/22(Sun)23:56 [Edit](#)

初めての土地の夜間登山、しかもお寺の裏が登山口とは、その勇気に感動しました。何事も安全第一と言いながら冒険の心を忘れていたような気がします。

Re:無題

by どら部屋のどら 2012/04/24 00:43

>初めての土地の夜間登山、しかもお寺の裏が登山口とは、その勇気に感動しました。何事も安全第一と言いながら冒険の心を忘れていたような気がします。

ありがとうございます。
感動したなどと、大変なお褒めのお言葉ありがとうございます。
励みになるので、今週から始まるGWは比良山縦走です！
楽しみ♪

2023/11/12 0:48

まつたりの天幕生活 西日本を天幕す（その2）

Design by CriCri / Photo by Geralt / powered by NINJA TOOLS / 忍者ブログ / [PR] 昔みたいにおばさんが体流してあ...